

Ikuhou 通信 ~11月号~

令和5年10月2日発行

育宝進学塾ホームページ: <https://www.ikuhou.com>

飯能教室: ☎ 042(972)5543 ✉ hannou@ikuhou.com
入間教室: ☎ 04(2963)2376 ✉ iruma@ikuhou.com
小川教室: ☎ 0493(73)2221 ✉ ogawa@ikuhou.com
東松山教室: ☎ 0493(81)4970 ✉ higashimatsuyama@ikuhou.com
武蔵藤沢教室: ☎ 04(2902)6910 ✉ musashi-fujisawa@ikuhou.com
新所沢教室: ☎ 04(2968)6835 ✉ shintokorozawa@ikuhou.com

最新情報

8月29日に埼玉県教育局は、今春の県内公私立・国立の高等学校卒業生の進路状況(速報)を発表しました。

令和5年3月高等学校卒業生		
	人数	構成比
県内高等学校 卒業生数	52,446人	100%
大学進学者	32,155人	61.3%
短期大学進学者	1,608人	3.1%
その他(通信等)	122人	0.2%

令和4年3月高等学校卒業生		
	人数	構成比
県内高等学校 卒業生数	54,053人	100%
大学進学者	32,130人	59.4%
短期大学進学者	1,964人	3.6%
その他(通信等)	150人	0.2%

前年度と比べると、卒業生数は減少しているが、大学進学者は増加していることがわかります。構成比でみると、大学進学率は5年連続上昇しています。

このデータからわかるように、卒業生の約6割が大学進学しています。特に、学校の評定を利用した推薦入試の利用が増加傾向にあるので、より高校1年生からの評定が大切になっています。もちろん、高校入試が1つの目標であることには変わりはありませんが、その先の進学を見据えて学習を継続していくことが重要になっていきます。

教室からお知らせ

「理社マラソン」について

10月8日(日)・15日(日)の10:00~18:40でテスト対策「理社マラソン」が実施されます。今回のテストは、2学期の成績に大きくかわかるテストですので、万全の準備をして挑みましょう。塾生でなくても参加できるので、ぜひ友達にも教えてあげてください。

保護者会について

10月15日(日)・22日(日)で保護者会が行われます。今回はオンラインでの実施になります。IDやパスワードは別紙にてお知らせいたします。ご質問等ございましたら、教室までご連絡ください。

11月の予定

中1・2 第四回 中3 第六回模擬テストについて

中1・2 第四回、中3 第六回模擬テストが11月11日(土)に実施されます。自分の実力を確認する重要なテストですので、全員必ず受験してください。中2は今回から5教科の実施になりますので、時間に気をつけてください。また、当日都合が悪い場合は11月7日(火)から「事前受験」ができます。詳しくは、各教室の先生に質問してください。

中学部保護者個人面談について

－10/24 から 11/14－

入試相談前倒しもあり、必要に応じて保護者面談を随時行っていますが、今後、中学の面談などが入り、**早めの面談を希望される場合は電話にてご連絡ください**。また、一回の面談で決まらないことも多々あります。その際は何回でも再面談を行いますのでご遠慮なく教室までご連絡ください。

中3 特訓授業について

9月2日(土)から授業が行われています。2月17日までの約6ヶ月間、土曜日を使っでの授業は、今までの「単元別の学習」から『総合的な問題を解く実践力』を育成するためのものになり、合計100時間をこなします。模試・北辰・検定・定期試験など、いろいろと多忙ではありますが、ぜひ乗り越えてほしいと思います。

中1・2 特別講座について

9月2日(土)から授業が行われています。例年苦手とする子が多い単元や、テスト対策の講座などが実施されます。途中での申し込みや、追加申込みもできます。ぜひご受講ください。

10/7	中1：比例反比例①	中2：三角形の合同①
10/21	中1：比例反比例②	中2：三角形の合同②
10/28	中1：動詞の完全理解(過去編)	中2：長文読解

来月以降

12月の北辰テストについて

中3 第七回北辰テストが12月3日(日)に実施されます。私立高校の推薦制度を利用できるか否かを決定する最後のチャンスです。しっかりと準備をして、ベストを尽くしましょう。

冬期講習について

小1から高3を対象に冬期講習があります。中2までは夏期講習同様『復習してしっかりと定着』を目標に頑張ります。また、中3は受験まで1か月を切ります。特訓授業+冬期講習+正月特訓で最後の仕上げを行います。

保護者様への情報コーナー

今月のテーマ：子どもの言語環境を意識する！

ものには言いようがあるとよく言われますが、子育てにも当てはまります。それは、子どもの言動に対しての親の言いようです。子育ての言語環境は、そのあとの子供の成長にとって、非常に大きな意味を持ちます。そして、大人になってどういう言語表現を使うかということにも影響を与えます。

言語環境とは、単純に言葉遣いのことだけではありません。「あなたは、失敗してばかりね」と言われて育つのと、「あなたは、失敗しても何度も挑戦できる子ね」と言われて育つのでは、子どもの自分自身に対する認識が大きく異なってきます。子どもに対して、どんな表現で接するのかが、子どものその後を決定するかもしれないほど、重要なことなのです。であれば、少しは、子どもに接する時の言語表現を、親が意識して良いものにしていくようにしたいものです。

その時に参考になるのが、リフレーミングという考え方です。たとえば、以下に同じ意味で、違う表現の言葉を書きます。

臆病——慎重
落ち着きがない——活発
元気がない——穏やか
無鉄砲——勇気がある
約束を守らない——おおらか／こだわらない
優柔不断——柔軟性がある
頑固——芯がある／信念がある

行動が良いのかどうなのか、性質が良いのかどうなのか、これは、自分が置かれた状況によって違ってきます。「元気がよい！」だけでは、良いのかどうなのかは、決定されません。運動場で「元気がよい」のは、OK だと思いますが、お葬式の場で「元気がいい」のは、NG です。物事は、状況や環境で、良くも悪くもなるものです。そういう状況や環境をふまえて行動を見てみると、マイナスの表現もプラスになったり、プラスの表現もマイナスになったりするものです。こういう言い換えを、時に応じて子どもにしてほしいのです。

また、こういう言い換えも考えてほしいと思います。

「勉強しなければ、入試に落ちる！」 — 「勉強すれば、入試に受かる！」

どちらも同じメッセージですが、どちらが言語環境としていいのかは一目瞭然です。子どもを脅かしてやらせる言語表現と、子どもを促す言語表現では、当然、後者が良いはずです。子どもが積極的になる表現を数多く使っていきたいものです。子どもを取り巻く言語環境を、少し意識してみてください。

このコーナーでは、保護者の方へ、
お子様との関わり方についてお伝えしていきます。

**お近くで塾を探しているお子様や保護者様はいらっしゃいませんか??
ぜひ、育宝進学塾にご紹介ください。**

お問い合わせTEL 04-2968-6835 岩崎までご連絡ください。